

渋谷でマナブ

第 3 号
発行 平成28年 4月

文系・理系と放送大学

巻 頭 言

東京渋谷学習センター

所長 酒井 善則



日本の大学では文系、理系という分け方がなされています。法学部、経済学部、文学部等は文系、工学部、理学部、医学部等は理系でしょうか。医学部は別に考える場合もあります。官庁でも、事務官、技官という形式で両者は分けられていますし、私が大学院修了後入社した電電公社（NTT）も、文系、理系は分けられていました。文系を卒業したか、理系を卒業したかで一生に大きな影響があります。もっとも、経済学－数学の分野は交流が多いでしょうし、大学内で専門を変える学生も多いようです。官庁でも理系学部を卒業して事務官になった知人も多くいます。これらの傾向を考慮してか、最近大学改革の一環として文理融合学部が話題になっています。

私個人は工学部電気工学科を卒業して、NTTの研究所、東工大と勤務してきたため、典型的な理系人間です。ただ、小学生の頃一番好きだったのは社会科、特に歴史でした。もし私が生活のために働く必要の全く無い環境に育っていれば、工学部に進学しないで、今とは違ったことをやっていたかもしれません。

放送大学で一番人気があるのは役立つ科目です。面接講義の企画をすると、資格につながる科目、仕事に直接役立つ科目、健康、子育て、介護のような生活に役立つ科目の人気が高いことを実感します。役立つといっても、一般大学とは内容は異なり、私のような専門はそれ程人気がありません。同時に、文化あるいは天文のような科目も人気があり、仕事あるいは生活と関係無い知的好奇心から受講する学生が多いのではないかと推察します。ただ、これら全体を教養学部、あるいはリベラルアーツと呼ぶのには、何か違和感があります。

放送大学は生涯教育の大学です。一億総活躍社会という言葉が現政権のキーワードになっていますが、役立つ科目はこの目的に完全に合致します。知的的好奇心から受講する科目は活躍とは直接関係無いかもしれませんが、これらも個人の能力を増すことに役立ち、結果的に一億総活躍に貢献します。役立つ科目、知的的好奇心を満足する科目を統合して、文理の壁を無くした教育の場を強調できる、良い総称が必要のように思います。

巻頭言「文系・理系と放送大学」 1

東京渋谷学習センター所長 酒井善則

コラム 2

「渋谷で学ぶ意味」 鈴木 浩

「大学の学びの先に」 小林亜樹

東京渋谷学習センター open&closeカレンダー 4

渋谷246セミナー 6

面接授業科目の追加登録について 7

公開シンポジウム報告 8

目 次



渋谷で学ぶ意味



鈴木 浩

放送大学客員教授（日本経済大学教授）

JR渋谷駅から徒歩3分のところにある大学といえば、放送大学東京渋谷学習センターです。でも、もう一つあるのです。それは私が本務としている日本経済大学です。国道246号線を挟んでこの二つの大学は向かい合っています。

日本経済大学では、メタエンジニアリングというテーマで研究を行っています。聞きなれない名前ですよね。我々は、子供のころは、あらゆるものやことに疑問を投げかけて両親を困らせてきました。「どうしてこうなっているの?」と。あらゆるものに「なぜ?」と問うてきました。しかし、大人になると何か問題が見つかるとうすぐにその解決策を探してしまいます。新しい扇風機を作ろうと思うと、羽根があって、それがぐるぐる回って風を起こす機械しか思いつきません。でも、イギリスのある会社は、羽根のない扇風機を作り出しました。扇風機はそもそもなぜ必要かを考えた結果です。メタエンジニアリングでは、この「なぜ?」を繰り返すことで問題を深く掘り下げてから解決策を探ろうとします。

渋谷は今大きく変わろうとしています。もともとの渋谷は、井の頭線の北側は若い人が集まるにぎやかな地域で、JR渋谷駅の東側は会社が多く集まっています。銀座線といえば八公を中心待ち合わせの場所です。東横線の西側は学校や予備校が集まるアカデミックな地域です。こうした多

様性に富んだ渋谷は、新しい情報やファッション発信の地でもあります。多様な文化はそれぞれ個別に作られ、渋谷の街を構成しています。

我々が所属している「大学」は、今や若い人だけのものではありません。変化の激しい時代にあって、学生時代に学んだことの上に新しい事実や解釈が必要になってきます。ドッグイヤーとも言われています。常に学んでゆかねばなりません。生涯学習といわれるように、一生学ぶことができるのが大学です。アメリカでは、シンギュラリティ大学とか、ユダシティ大学という生涯学習を対象にした大学が作られ、話題になっています。あるいは、MOOCというオープンオンライン教育が、米国でも日本でも広く学習の場として広がっています。これまでのように大学が、4年で卒業する、大学に所属する先生から教育を受ける、などといった固定的な教育施設ではなくなってきているのです。

我々が所属する放送大学はこうした世の中の動きを先取りした、柔軟な大学であるということが出来ます。学びたいという意欲さえあればいつでも、だれでも入学できます。時代の変化に合わせて毎年カリキュラムが変わります。教育を担当する先生方も様々な経歴の持ち主ばかりです。ぜひ、もう一度子供の時代に戻って、「なぜ?」を繰り返しながら、学習を進めていただければ幸いです。

大学の学びの先に



小林亜樹

放送大学客員准教授（工学院大学准教授）

1991年、今から25年前。みなさんは何をしていましたか？

ソビエト連邦最後の1年、湾岸戦争勃発。情報通信系の分野へ目を転じると、ティム・バーナーズ・リーによりWorld Wide Webの最初のサイトが公開され、リーナス・トールバルスがLinuxの最初のカーネルを公開し、いずれも現在の普及の礎を築いています。しかし、家庭の情報機器と言えば専らテレビと電話機であった頃で、FAXは貴重な文書の即時配信メディアでした。国内のパソコン普及率は1割をようやく越えた程度で、インターネットが一般家庭へとつながるには、なお数年を要します。

さて、当時の生活から、現在の状況をどのくらい予測できたと思いますか？食事のメニューはそう大きくは変わっていないかもしれませんが。着る服も流行り廃りはあっても、SFに見る未来人のような服を着ている人は、まだいません。相変わらず通勤電車は混雑し、テレビ電話で勤務できている人はほんのわずかです。

一方で情報通信機器は、手の平のスマートフォンで世界中の情報へと到達でき、また、相当の山間でも携帯電話のネットワークが自分あてのメッセージを届けてくれます。ビデオ映像ですら手の平で踊っています。情報通信技術は、コンビニエンスストアの広まりにも影響しています。全国津々浦々で客を待ち受け、POSシステム

で瞬時に売り上げを本部へと報告し、次の仕入れなどに活かされています。入荷待ち、といった不便を相当取り除いてくれているわけです。25年経ち、「コンビニ」の略称はすっかり定着しました。

これらの変化を的確に予測できた人はいなかったと思います。いや、未来に含まれる技術を「知っている」人たちはいました。各分野の研究者たちです。しかし、彼らは同時に未来に含まれない技術にも取り組んでいました。予言者ではなく、新しい領域を切り拓いていきたいとの想い、夢を持った人間だからです。

今、大学で学ぶということは、過去の体系、知識を学ぶということだけではありません。彼らの想いの片鱗に触れ、現在から未来への道筋も学び、考えていくことなのです。

片田舎の小さな商店で、その店手作りの品を頼張る。世界を小さくした情報通信技術は、旅のそんな楽しみを失わせてもしまいました。不均質と不便さ。それは失われるべき過去かもしれませんが、同時に楽しみも提供してくれるものだとも思います。次の学問はこの想いを包摂していくべきでしょうか。

25年、私が大学に入学してからの年数に思いを馳せました。

次の25年、四半世紀。あなたは、あなたの子どもたちは、どんな夢を見ていきますか？

東京渋谷学習センター open & close カレンダー

開館時間は都合により
変更することがあります。

☆：夜間面接授業あり。

開館時間と窓口・図書視聴学習室のご利用
時間が異なります。ご注意ください。

事務室窓口 & 図書視聴学習室			
利用時間	open	~	close
火~金	10:00	~	18:30
土・日	9:30	~	18:00
閉所日	月曜日・祝・祭日 学長またはセンター所長が定めた日		

5月

月	火	水	木	金	土	日
						1 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
2	3 × 閉所日 憲法記念日	4 × 閉所日 みどりの日	5 × 閉所日 こどもの日	6 open 10:00 close 18:30 開館 9:00~18:30	7	8 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
9	10	11	12	13	14	15 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
16	17	18☆	19☆	20	21	22 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
23/30	24/31	25☆	26☆	27	28	29 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
						open 10:00 close 18:30 開館 9:00~18:30
						open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00

4月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2●	3●
				open 10:00 close 18:30	9:30~11:30 16:00~18:00 ★入学者の 集い	open 9:30 close 18:00
				開館 9:00~18:30	開館 9:00~18:00	
4	5	6	7	8	9	10 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
11	12	13	14	15	16	17 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
18	19	20	21	22	23	24 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
25	26	27	28	29	30	open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00

●4/2 は入学者の集いの為、窓口は11:30~16:00の間ご利用できません。
図書視聴学習室は、ご利用できます。

6月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
		open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00	
6	7	8	9☆	10	11	12 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
13	14	15	16☆	17	18	19 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
20	21	22	23☆	24	25	26 open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00
27	28	29	30☆			
						open 10:00 close 18:30 開館 9:00~18:30
						open 9:30 close 18:00 開館 9:00~18:00

7月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
				open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	
				開館 9:00~18:30	開館 9:00~18:00	
4	5	6	7	8	9	10
× 閉所日	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00		
11	12	13	14	15	16	17
× 閉所日	× 臨時閉所日	open 10:00 close 18:30		open 9:30 close 18:00		
		開館 9:00~18:30		開館 9:00~18:00		
18	19	20	21	22	23	24
× 海の日	open 10:00 close 18:30			事務室 9:00~12:00 / 12:45~19:00 図書視聴学習室 9:30~18:30		
	開館 9:00~18:30			開館 8:30~19:00		
25	26	27	28	29	30	31
× 閉所日	事務室 9:00~12:00 / 12:45~19:00 図書視聴学習室 9:30~18:30			× 学長が 定めた日	事務室 9:00~12:00 / 12:45~19:00 図書視聴学習室 9:30~18:30	
	開館 8:30~19:00				開館 8:30~19:00	

7/22(金)~7/31(日)の単位認定試験期間中、窓口は、12:00~12:45の間、ご利用できません。図書視聴学習室は、ご利用できます。

8月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
× 閉所日	× 学長が 定めた日	open 10:00 close 18:30		open 9:30 close 18:00		
		開館 9:00~18:30		開館 9:00~18:00		
8	9	10	11	12	13	14
× 閉所日	× 臨時閉所日	× 臨時閉所日	× 山の日	open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	
				開館 9:00~18:30	開館 9:00~18:00	
15	16	17	18	19	20	21
× 閉所日	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00		
22	23	24	25	26	27	28
× 閉所日	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00		
29	30	31				
× 閉所日	open 10:00 close 18:30					
	開館 9:00~18:30					

9月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
			open 10:00 close 18:30		open 9:30 close 18:00	
			開館 9:00~18:30		開館 9:00~18:00	
5	6	7	8	9	10	11
× 閉所日	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00		
12	13	14	15	16	17	18
× 閉所日	× 臨時閉所日	open 10:00 close 18:30		open 9:30 close 18:00		
		開館 9:00~18:30		開館 9:00~18:00		
19	20	21	22	23	24	● 25 ●
× 閉所日	open 10:00 close 18:30		× 秋分の日	open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	9:30~11:30 16:00~18:00 ★学位記 授与式
	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:30	開館 9:00~18:00	
26	27	28	29	30		
× 閉所日	open 10:00 close 18:30					
	開館 9:00~18:30					

● 9/25は、学位記授与式の為、窓口は11:30~16:00の間ご利用できません。図書視聴学習室は、ご利用できます。

最新情報は、東京渋谷学習センター又はホームページにてご確認ください。

☎03-5428-3011

ホームページ

<http://www.campus.ouj.ac.jp/~shibuya/>



渋谷246セミナー予定表

(事前申込制)

日程、申込方法の詳細は、決まり次第センターに掲示、または東京渋谷学習センターのホームページ (<http://www.campus.ouj.ac.jp/~shibuya/>) でお知らせします。
 なお、下記は4月現在の年間予定です。やむをえず中止等もごさいますのでご了承ください。概要などの詳細は、センターに配架しているチラシをご覧ください。

日時・講師	テーマ	日時・講師	テーマ
 <p>5月28日(土) 14:00~16:00 客員教授 船橋 恵子 (静岡大学 名誉教授)</p>	<p>「スウェーデンの 育児政策～ チルドレン・ ファーストと ジェンダー平等～」</p>	 <p>8月27日(土) 14:00~16:00 客員教授 米崎 直樹 (東京工業大学 名誉教授)</p>	<p>「ソフトウェア 新時代」</p>
 <p>6月18日(土) 14:00~16:00 客員教授 阿保 順子 (北海道医療大学 特任教授)</p>	<p>「看護技術の 真髄概要」 会場：AP渋谷道玄坂</p>	 <p>9月10日(土) 14:00~16:00 客員教授 鈴木 孝弘 (東洋大学 教授)</p>	<p>「幸福度と長寿の 都道府県格差 を考える」</p>
 <p>7月2日(土) 14:00~16:00 客員教授 鈴木 浩 (日本経済大学 教授)</p>	<p>「暮らしの中の 電気を考える」 会場：AP渋谷道玄坂</p>	 <p>9月17日(土) 14:00~16:00 客員准教授 山本 史華 (東京都市大学 准教授)</p>	<p>「ポスト3.11 低線量被曝の倫理」</p>

2学期(10月以降)開催予定の先生方

講師	テーマ	講師	テーマ
 <p>所長 酒井 善則 (東京工業大学 名誉教授)</p>	<p>「一技術者の体験した 情報通信産業進展 の時代」</p>	 <p>客員教授 中村 義人 (公認会計士・東洋大学 法科大学院非常勤講師)</p>	<p>「『多発する不正会計』 会計情報の大切さを 学ぶ」</p>
 <p>客員教授 秋鹿 研一 (東京工業大学 名誉教授)</p>	<p>サイエンスカフェ 「科学技術記事を 読み解く」</p>	 <p>客員教授 三村 優美子 (青山学院大学 教授)</p>	<p>「地域社会と マーケティング・ 流通」</p>
 <p>客員教授 大杉 麻美 (明海大学 教授)</p>	<p>「夫婦の多様な 暮らし方～ 法律の条文を 手掛かりに」</p>	 <p>客員准教授 小林 亜樹 (工学院大学 准教授)</p>	<p>「大量のデータを 整理するしくみ」</p>
 <p>客員教授 渋谷 一彦 (東京工業大学 名誉教授)</p>	<p>「水の循環と機能の 化学」</p>	 <p>放送大学 東京渋谷学習センター</p>	

平成28年度第1学期

面接授業科目の 追加登録について

科目登録状況により定員に満たなかった面接授業科目については、その科目を開設している学習センターで追加登録を受け付けます。

平成28年度第1学期は、4月16日(土)12時から、空席状況を各学習センターでの掲示、キャンパス・ネットワーク・ホームページでお知らせします。4月22日(金)15時以降はシステムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認することができます。

なお、科目登録方法は、その面接授業を開設している学習センターにより異なります。
具体的な受付方法については、それぞれの学習センターにお問い合わせください。

東京渋谷学習センター開設科目の 追加登録の方法は次のとおりです

〔受付初日〕 4月22日(金) 窓口申請のみ !!

- ① 午前10時00分までに追加登録抽選会場に入室した方を対象に、登録する順番を決める抽選を行います。

10時に抽選会場の入口を閉め切ります。

抽選を希望する方は10時までに会場にお入りください。

間に合わなかった場合は、抽選者の申請が終わった後に申込みできるようになります。

- ② 抽選結果順に、学習センターの窓口面接授業科目追加登録申請書を提出し、**授業料をその場で納入していただきます。**
- ③ 登録時には「学生証」が必要になりますので、必ず持参してください。

〔受付2日目以降〕

受付2日目からは、窓口申請だけでなく、郵送による申請も受け付けます。

郵送される方は、①面接授業科目追加登録申請書、②所定の授業料、③学生証のコピー、④返信用封筒(宛先を記載し、82円切手を貼付)の4点すべてを同封の上、現金書留によりお送りください。

申請は、科目ごとに定められた受付期限日までとなります。

期限内に郵便が届かなかった場合、申請した科目がすでに満席の場合、登録内容に不備がある場合は返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しいたします。ご了承ください。

公開シンポジウム

「渋谷のこれからを考える～渋谷の都市再開発を中心に～」

開催日：平成28年3月6日(日) 会場：渋谷シネタワー(AP渋谷道玄坂)

東京渋谷学習センターは、国土交通省、渋谷区、渋谷区教育委員会、(独)都市再生機構の後援を受け、平成24年に渋谷にセンターを開設してから初めての公開シンポジウムを主催いたしました。テーマが身近な話題であったので、放送大学の学生だけでなく、一般からの参加者も多く、150名を超える人がこのシンポジウムに参加しました。



長谷部健渋谷区長

小寺山亘副学長の開会挨拶の後、3本の講演が行われました。「都市政策と渋谷～故きを温ね新しき都市のイノベーションを探る～」と題して国土交通省街路交通施設課長の神田昌幸氏が、続いて「渋谷プロジェクトの全体像とエリアマネジメントの取り組み」と題して東急電鉄で開発事業を担当している山口堪太郎氏が、最後に、渋谷街づくりガイドライン策定に加わり、現在も渋谷の開発に関わっている日本大学理工学部教授の岸井隆幸先生が「今後の東京都心の在り方：ランドデザインと渋谷」という題目で講演を行いました。

しばしの休憩後、「新しい渋谷とは」というテーマでパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、司会の東京渋谷

学習センター所長の酒井善則先生と講演者3名に渋谷区長の長谷部健氏加わって討論を行いました。渋谷の歴史や特徴などを振り返りながら、今後の渋谷の都市再開発計画と渋谷のあり方について討論を行いました。また渋谷だけでなく日本の都市のあり方についての話など、様々な立場の方からの話と参加者からの活発な質疑応答が行われ、とても有意義な討論となりました。



パネルディスカッションの模様
右から司会の酒井善則所長、長谷部健氏、岸井隆幸氏、神田昌幸氏、山口堪太郎氏

(このシンポジウムの模様は「大学の窓」でも放送されました。大学のホームページの動画チャンネルでも見ることができます。)

編集後記

「大学の窓」で東京渋谷学習センターの公開シンポジウムが取り上げられました。やっと“渋谷らしい”ことができたと同時にセンターにも様々な期待が寄せられるようになりました。そこで渋谷を散策しながら“渋谷らしい”とはなんだろうかと考え、ふと、ビルの入口にある植木のスペースに目を向けると鳥の巣らしきものが。周りには数羽の雀が飛び跳ねていました。どんな環境でも対応するのが渋谷なんですね。(R)